



学校運営協議会だより

第5号 令和2年2月25日（火）発行：市川市立稲越小学校運営協議会

第5回 学校運営協議会報告

令和2年2月20日(木)、18時より本年度最後となる第5回学校運営協議会が実施されました。

はじめに、清田校長より今年度の取り組みと改善点、次年度の方向性について「生きる力」の育成のために重要である「知・徳・体」についての観点からの説明がありました。

「知」(学力)の面では、専門家を講師に招聘し研修会をしたが、結果としてはなかなか簡単には表れていないこと。「徳(豊かな心)」では定期的なアンケートの実施や相談体制についてのこと。「体(健康)」では、「食育」や「望ましい生活習慣」についての取り組みについてのこと。について話がありました。また次年度の方向性についても説明されました。(詳細については、25日の担任より保護会でお伝えします。)

次に教頭より「後期の学校評価アンケート」についての説明がありました。全体的には、前期と比較して、項目ごとに1～3ポイント上下していること。その中で良い点として、「信頼される学校づくり」は市川市と比較して、かなり高評価をいただいたこと。特に「特色ある学校」の項目は17ポイントも上であったことをうれしそうに話していました。学校だよりやホームページでの情報発信、開かれた学校づくりへの取り組みが評価されたと考えます。

課題として、児童の生活アンケートから「外遊びへの励行」「給食後の歯磨き」についての話がありました。冬季の時期は、寒さのため外で遊ぶことが少なくなります。今年は、「ぼかぼかギネス」を工夫したことや「なわとび名人」での外遊びを励行し、改善に努めたこと。「給食後の歯磨き」では、食後の声掛けと時間の確保についての改善策が説明されました。委員の方から学校と家庭が連携して「望ましい習慣」と「健康づくり」に努めてほしいという意見がありました。

そして、今回は、最後の運営協議会であることもあり、学校関係者評価も行われました。4観点で評価を行い、「確かな学力」では、今後も研究・修養に努める必要があること。「心の育成」については「縦割り活動」「須和田の丘小学部との交流」を継続し、生活アンケートや相談機能を生かし、安全・安心な学校づくりを行うこと。「健やかな体」は、多くの意見が出され、「食育」への取組や成果を持続し、包括的に健康教育に努めるとともに家庭に協力を依頼し連携に努めること。「信頼される学校」については、安全確認大作戦を通じた、PTA・保護者の方々の協力体制のすばらしさの意見があがり、学校

だよりを積極的に発信していることへの評価とともに内容面でも参考になるとの協議
されました。今後も、「家庭・地域と共にある学校」を目指していきます。

学校支援コーディネーターの松山委員からは地域連携協働活動について、「夏の寺子
屋教室」「1年生との昔遊び体験」への協力者の「数」や「声」のお話がありました。

市川市教育委員会、学校地域連携推進課の方も参加され、「学校支援講座のボランテ
ィア募集」「コミュニティカレンダーの活用」についての説明もされました。

次年度も保護者・地域の皆様の声を学校運営協議会で相談しながら、学校運営に励
んでいきたいと思えます。今後ご協力・ご支援お願いいたします。



話し合いの様子